

日本病院前救急救命学会

平成 26 年度

事業報告

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

平成 26 年度事業報告

日本病院前救急救命学会は、旧日本救急救命士学術研究会が検討を行い、新たな名称及び会則・施行細則を定め、平成 26 年 4 月に発会した。

したがって、当初から平成 26 年度の事業計画はなく、幹事及び評議委員を構成員とする役員会で、順次、協議のうえ事業を遂行した。この協議方法は主に、スカイプを使用した Web 会議及びメーリングリストを利用した協議により行った。

平成 26 年度は、日本病院前救急救命学会としての基盤づくりを念頭に置き、12回の Web 会議を開催するとともに、東京都で症例検討会及び京都府で総会及びワークショップを行った。

また、平成 27 年 3 月の京都府で開催した総会では、策定した平成 27 年度事業計画を報告し、当学会の信用向上と長期的な安定を目的に、事務局業務を平成 27 年度中にヘルス出版へ委託すること及び平成 30 年度までに当学会を法人化する具体的な準備作業に着手することとした。

平成 26 年度は、当学会を設立した年度にもかかわらず、平成 26 年度末の救急救命士資格を有する正会員は 68 名のであった。また、本会の趣旨に賛同していただいた医師や看護師、大学教員の方々数名が賛助会員及び協賛会員としての入会して下さった。

会員諸氏のご理解とご協力に感謝するとともに、役員の方々の努力により学会事業を円滑に執行できたことに深謝の意を表す。

日本病院前救急救命学会会則の第 22 条に基づき、平成 26 年度の事業を下記のとおり報告する。

記

1 平成 26 年度第 1 回幹事会・評議員会、症例検討会及び平成 26 年度総会・ワークショップ

(1) 平成 26 年度第 1 回幹事会・評議員会・症例検討会

ア 開催日：平成 26 年 12 月 7 日（日）

イ 場所：レンタルセミナー室パドム（東京都品川区北品川 1-1-15、北品川 21 ビル 4 階）

ウ 内容

① 平成 26 年度第 1 回幹事会・評議員会

以下の審議を行い、終了後に懇親会を開催した。

(ア) 会員数及び会計収支状況について（報告）

(イ) これまでの幹事会決定事項について（確認・報告）

(ウ) 会員メーリングリスト作成及びメールマガジン配信について

(エ) 学会ホームページの運用について

(オ) 平成 26 年度日本病院前救急救命学会総会の開催について

② 症例検討会

演題1:「不搬送扱いとした傷病者が心肺停止状態で再度救急要請された症 例」

演題2:「佐呂間竜巻災害から経験した集団災害事案に対する消防職員の認識」

(日本病院前救急救命学会 中川 貴仁)

演題3:活動報告「福祉行政との連携体制整備による特殊ケース対応の成果と課題」

(日本病院前救急救命学会 西岡和男)

③ 会長講演

「今後の活動について(設立趣旨を中心に)」～救急救命士の輝く未来のために～(会長 坂田武)

(1) 平成26年度総会及びワークショップ

ア 開催日:平成 27 年 3 月 21 日(土)

イ 場 所:京都橘大学 明優館 D101 教室(京都市山科区大宅山田町34)

ウ 内 容(鈴木健介副会長企画)

① 総会

学会員へ以下の説明を行い、ワークショップ終了後に、懇親会を開催した。

(ア)平成27年2月28日までの平成26年度の学会活動報告を行った。

(イ)平成27年2月28日までの平成26年度暫定決算報告及び平成27年度予算案の報告を行った。

(ウ)平成27年度事業計画の説明を行った。

② ワークショップ

演題1:「瓦礫の下の医療救急救命士の立場から」

(日本医科大学多摩永山病院救命救急センター 鈴木健介)

演題2:「DNARは、なぜ救急隊員に混乱をもたらすのか？」

(日本病院前救急救命学会 西岡和男)

演題3:「高齢者救急の現状と課題～傷病者の意思を尊重するためには～」

(倉敷芸術科学大学健康科学科救急救命士コース 荒木徳孝)

2 平成 26 年度 Web 会議

(1) 第1回 Web 会議(平成 26 年 4 月 12 日(土)開催)

審議事項は、次のとおり。

ア 会則・施行規則について

イ 学会名称について

ウ 学会名称の英訳について

エ 口座開設(通帳作成)について

オ 幹事の会費の振込をいつまでに行うかについて

カ 商標登録について

キ HP の開設及び無料版とするか有料版とするかについて

ク 会員募集の開始時期について

ケ 幹事の追加について

(2)第2回 Web 会議(平成 26 年 4 月 20 日(日)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア 商標登録の見積依頼の条件について
- イ ゆうちょ銀行への口座開設について(報告)
- ウ 監事の人選について
- エ 評議員の選出方法について
- オ 事務事業計画の作成是非と同計画に基づく具体的事業の検討について

(3)第3回 Web 会議(平成 26 年 5 月 14 日(水)、15 日(木)開催、参加者が異なるが審議事項は両日共通)

審議事項は、次のとおり。

- ア ホームページの試作(無料版)について報告と有料版への移行について
- イ 会員募集の登録フォームについて
- ウ Facebook、ホームページの団体名称の変更時期について
- エ ホームページの Web ホスティングサービスについて
- オ 厚生労働省等の関係機関への挨拶について

(4)第4回 Web 会議(平成 26 年 5 月 18 日(日)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア 商標登録について
- イ 会費振込手数料の取扱いについて
- ウ 新幹事及び監事の ML 登録について
- エ 旅費規程(申請書含む)の作成について
- オ 会員募集の登録フォーム作成について
- カ 評議員数の過不足に関する検討及び追加候補について
- キ 幹事及び監事の初年度会費の入金について

(5)第5回 Web 会議(平成 26 年 6 月 12 日(木)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア 会員募集の現状について(報告)
- イ 会員場番号の付与方法について
- ウ 振込依頼書の作成について
- エ 会員の登録日と会費滞納時の取り扱いについて
- オ 医師相談役について
- カ 公用に使用する学会角印の作成について
- キ 臨床救急医学会のホームページへのバーナーの貼付けについて
- ク 関係機関への応援メッセージ依頼について
- ケ 登録商標の見積先について
- コ 会員メーリングリスト設置可否について
- サ メルマガの発行案及び掲示板の設置案について

- シ 会員募集の具体的な方策及び役割分担について
- ス 救護救急財団会員に対するインフォメーションについて
- セ 日本臨床救急医学会でのイベント開催など今後の具体的な実施事業について

(6)第6回 Web 会議(平成 26 年 8 月 1 日(金)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア 商標登録の見積もり依頼先と発注について
- イ 委員会の設置について
- ウ 関係機関との面談予定について(報告)
- エ 平成 26 年 7 月 22 日現在の会員数について(報告)

(7)第7回 Web 会議(平成 26 年 10 月 1 日(水)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア 商標登録の実施時期について
- イ 評議員 2 名の推薦及び承認について
- ウ 年内の事業企画にについて
- エ 幹事・監事・評議員の顔の見える関係づくりについて

(8)第8回 Web 会議(平成 26 年 10 月 6 日(月)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア 平成 26 年中に行う症例検討会の実施日時・場所等について
- イ 平成 26 年度の総会の実施時期について
- ウ 平成 27 年 6 月に富山で行われる日本臨床救急医学会会長奥寺教授への挨拶について
- エ 平成 26 年 10 月 17 日に長崎の研究会に参加して当学会の広報を行う件について(報告)

(9)第9回 Web 会議(平成 27 年 1 月 13 日(火)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア メーリングリストの利用目的について
- イ 平成 27 年 3 月に行うイベントについて
- ウ 平成 27 年 6 月に行う臨床救急医学会とのジョイントについて
- エ 学術集会の開催について
- オ ヘルス出版との事務委託契約及び準機関紙の発刊について
- カ 関係機関との面談について
- キ Facebook の活用について
- ク Web 会議の運用・開催について

(10)第 10 回 Web 会議(平成 27 年 1 月 26 日(火)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア メーリングリストの利用目的について

- イ 平成27年3月に行うイベントの開催要領について
- ウ 平成27年6月に行う臨床救急医学会とのジョイントの開催要領について
- エ 学術集会の開催について
- オ ヘルス出版との事務委託契約及び準機関紙の発刊について
- カ 出版社からの執筆依頼に対する対応要領について
- キ 関係機関との面談について
- ク Facebook の活用について

(11)第11回 Web 会議(平成27年2月24日(火)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア 平成27年3月21日(土)に行う総会の実施要領について
- イ 平成27年度の事業計画について
- ウ 平成27年6月に行う臨床救急医学会とのジョイントの開催要領について

(12)第12回 Web 会議(平成27年3月4日(水)開催)

審議事項は、次のとおり。

- ア 平成27年3月21日(土)に行う総会・ワークショップの実施概要について
- イ 総会で行う今年度の仮決算報告について
- ウ 総会の参加費の徴収について
- エ 総会で行う次年度の予算案及び事業計画の仮報告について
- オ 平成27年6月に行う臨床救急医学会の企画について
- カ 平成27年3月21日(土)に行うワークショップの担当・交通費補助について

3 関係団体との面談

(1)日本救急救命士協会

- ア 開催日:平成26年4月22日(火)
- イ 場所:帝京平成大学池袋キャンパス(東京都豊島区東池袋2-51-4)
- ウ 参加者:日本救急救命士協会会長:鈴木哲司、副会長:福島圭介
日本病院前救急救命学会会長:坂田武、副会長:張替喜世一

(2)日本救護救急財団

- ア 開催日:平成26年8月25日(月)
- イ 場所:日本救護救急財団(東京都千代田区紀尾井町3-31 紀尾井町ビル303号)
- ウ 参加者:日本救護救急財団会長:早川忠孝
日本病院前救急救命学会会長:坂田武、副会長:張替喜世一

(3)日本救急医療財団とヘルス出版

- ア 開催日:平成26年8月26日(火)
- イ 場所:京王プラザホテル2階(東京都新宿区西新宿二丁目2番1号)

ウ 参加者:日本救急医療財団会長:島崎修次、株式会社ヘルス出版社長:佐藤枢
日本病院前救急救命学会会長:坂田武、副会長:張替喜世一

(4)総務省消防庁

ア 開催日:平成 26 年 8 月 26 日(火)
イ 場 所: 総務省消防庁(東京都千代田区霞が関二丁目 3 番 31 号中央合同庁舎第 2 号館)
ウ 参加者:消防・救急課の課長補佐(併任:救急企画室課長補佐)、救急専門官(厚労省医系技官)
日本病院前救急救命学会会長:坂田武、副会長:張替喜世一、幹事:脇田佳典)

(5)第 18 回日本臨床救急医学会会長

ア 開催日:平成 26 年 10 月 27 日(月)、28 日(火)
イ 場 所:第 42 回日本救急医学会総会・学術集会評議員会会場等(福岡県福岡市)
ウ 参加者:富山大学大学院危機管理医学講座教授:奥寺 敬
日本病院前救急救命学会会長:坂田武

(6)厚生労働省

ア 開催日:平成 26 年 12 月 24 日(水)
イ 場 所:厚生労働省(医政局地域医療計画課及び審議官室)
ウ 参加者:厚生労働省大臣官房審議官:福島靖正
厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室室長:西嶋康浩、
厚生労働省医政局地域医療計画課病院前医療対策専門官:酒井智彦
日本病院前救急救命学会会長:坂田武、副会長:張替喜世一

4 広報関係

- (1)ホームページ開設日:平成 26 年 4 月 1 日
- (2)Facebook 開設日:平成 26 年 5 月 28 日
- (3)メーリングリスト開設
ア 幹事会メーリングリスト開設日:平成 26 年 3 月 22 日(参加者:幹事・監事)
イ 役員会メーリングリスト開設日:平成 26 年 11 月 15 日(参加者:幹事・監事・評議員)
ウ 会員メーリングリスト開設日:平成 26 年 12 月 14 日(参加者:正会員・賛助会員・協賛会員)
- (4)メディカ出版発刊の「エマージェンシー・ケア」2014 年 11 月号へ学会紹介文投稿
- (5)各種学会の開催受付に、役員が当学会の紹介用パンフレットを配布

5 委員会

設置する委員会の名称とその事務分掌は、次のとおりとし、当面は必要な委員会から運営を立ち上げ、将来的には全ての委員会を運営することとした。

(1)広報委員会

- ア 病院前救急救命学の発展、普及に向け、本学会にふさわしい広報活動を行う
- イ ホームページ管理に対し責任を持ち、多職種の会員に向けた情報を発信する

ウ 本学会に関連する後援申請及び承認の処理を行う”

(2) 学術委員会

ア 病院前救急救命に関わるエビデンスの収集及びそれに基づく学問構築の検討を行う

イ 現場活動に必要な通知・通達の収集を行う

(3) 会則検討委員会

会則・施行細則、内規など学会の決まりごと全般について検討する

(4) 編集委員会・学会雑誌の編集と投稿論文の査読を行う

発行回数、掲載内容、投稿規定について検討する

(5) 将来検討委員会

ア 学会の現状とともに将来像を議論し、具体的課題を提言する

イ 学会の各種活動、及び他学会との連携・調整等に関わる事項をについて議論する

(6) 病院前救急救命活動検討委員会

各MCのプロトコールの紹介や検証など、病院前救急活動を検討し提言する

(7) 教育研修委員会

各職種の教育システムについて討議する

(8) 評議員選出委員会

評議員選出に携わる

(9) 研究倫理委員会・演題発表・論文投稿に際しての倫理・利益相反を審査する

学会に倫理的問題が生じた際にも検証を担当する

(10) 指導救急救命士検討委員会

指導をする救急救命士の育成に関わる教育システム・内容の検討する

(11) 多職種活動・連携委員会

消防、病院内、教育施設などで活動する救急救命士のあり方や医療従事者との連携を検討する

(12) 学術会議開催準備検討委員会

学術会議の開催に関わる調整及び準備等を行う

(13) 国際委員会

ア 諸外国における病院前救急救命システムやプロトコールを検証し提言する

イ 諸外国における多数傷病者発生事例等を調査検証し提言する

以上